

国土交通経済（平成14年8月・9月分）の概況

【公共工事受注（9月）】

～総じて低調に推移。

工事受注額は前年同月比6.2%減少（2ヶ月連続、4-9月累計は前年同期比6.8%減少）。
大手50社受注額は同4.0%減少（2ヶ月連続、4-9月累計は同11.3%減少）。

【住宅建設（9月）】

～緩やかに減少。

新設住宅着工戸数は、総計97,238戸で前年同月比5.1%減少（3ヶ月連続、4-9月累計は前年同期比2.2%減少）。
季節調整済み年率換算値の推移をみると、平成14年4-6月1,180千戸、7-9月1,130千戸（7月1,136千戸、8月1,125千戸、9月1,115千戸）と減少が続いている。

【民間非住宅建設（9月）】

～基調としては減少している。

民間設備投資の先行指標である民間非居住用建築物着工床面積は、店舗は増加したものの事務所・工場・倉庫は減少したため、全体で前年同月比4.1%減少（4ヶ月連続、4-9月累計は前年同期比4.9%減少）。

【貨物交通（8月・9月）】

（1）国内輸送

～トラック及び鉄道は減少。航空も基調としては減少。

トラック（特積）は、8月前年同月比5.3%減少（20ヶ月連続）、トラック（一般）は8月同2.0%減少（19ヶ月連続）となった。一方、宅配は、8月同8.1%増加（8ヶ月連続）となった。
鉄道は、9月同0.7%減少（14ヶ月連続）となった。航空（速報：3社）は、前年9月に発生した米国同時多発テロによる影響の反動増により、9月同9.8%増加（20ヶ月ぶり）となった（前々年同月比12.7%減少）。

（2）国際輸送

～航空は、輸出入ともに堅調に推移しているが、輸出の増加幅は縮小傾向。

外国航空会社を含む航空貨物量（速報：成田・関空調べ）は、輸出が9月前年同月比27.4%増加（6ヶ月連続）となったが、8月（同28.8%増加）に比べ増加幅は縮小した。輸入は、9月同7.0%増加（3ヶ月連続）となった。我が国航空会社の輸送量（速報5社：輸出+輸入）は、9月同18.1%増加（7ヶ月連続）となった。

【旅客交通（8月・9月）】

～鉄道はほぼ横置き。国際航空は基調としては減少。国内航空は増加傾向。

鉄道は、JR6社が8月前年同月比0.4%増加（5ヶ月ぶり）、民鉄は、8月同0.0%減少（5ヶ月連続）となった。国際航空（邦社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、9月同16.0%増加（13ヶ月ぶり）となった（前々年同月比7.4%減少）。国内航空（速報：9社）は、9月同4.6%増加（2ヶ月連続）となった。

【観光（9月）】

～国内旅行取扱額は減少。海外旅行取扱額も基調としては減少。

国内旅行取扱額（主要50社）は、9月同4.1%減少（7ヶ月連続）となった。
海外旅行取扱額（主要50社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、9月前年同月比24.7%増加（13ヶ月ぶり）となった（前々年同月比9.6%減少）。
なお、入国外客数は、9月同10.6%増加（8ヶ月連続）となった（前々年同月比3.2%増加）。